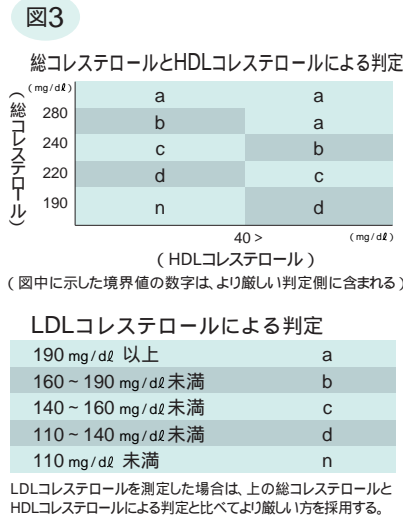


(4面からつづく)とに学校現場で判定しやすい可能性がある」と述べ、血圧のような工夫がなされている。検査の意義を強調するとともに、判定基準とその実際について解説している。

さらに、高血圧が発見された子どもの治療とその管理、家庭や学校での対応のポイントなどを具体的に紹介しながら、「生涯を通じた高血圧予防のために、乳幼児期からの適切な生活習慣が重要となる。また、子どもの頃から血圧測定習慣は、成人以降の血圧管理、ひいては健康増進の習慣にも結びつく」と述べている。

脂質



「コレステロールや中性脂肪などの脂質は、生命の維持に不可欠なものである。ところが、血液中の脂質が過剰になると高脂血症となって動脈硬化の危険因子となる。」

また、小児期にコレステロール値が高い人は、成人後も高い状態が続く傾向があるため、小児生活習慣病予防健康診による適切な指導が求められる。とくに小学校高学年の子どものうち、自分で責任を持つことが重要である。

岡田知雄(日本大学医学部助教授)は、このように前置きしたうえで高脂血症の病態を示している。

「小児の血清脂質の状態は、成人とは異なるため、小児独自の基準値が必要となる。そこで中央会では、過去20年間の健診データに基づき、脂質の判定基準を設定した(図3、表2)」と述べ、子どもの脂質の特徴と基準値、高脂血症を診断する際の留意点などを解説している。

そのほか、高脂血症の子どもの健康の現状を把握して、日常生活の指導によって将来発症する恐れのある疾病を予防し、生涯にわたる健康の保持増進を目標とするものを実現し、新しい健診システムの流れを示している。そのなかで健診結果の判定については、「各項目の判定基準をもとに項目別に評価し、コメントをつける(表2)、各項目の評価の組み合わせによって、Nに総合判定を行い、それぞれの判定に応じた指導内容を決定する(表3)」と紹介した。

健診の実際

総合判定と指導

そのうえで、このシステムの特徴は、中央会の全国各支部の20年間にわたる健診データをもとに基準値を設定し、判定評価を行うなど、科学的根拠に基づいた基準値を重視していること、各健診項目の独自性を重視した評価を行い、問題が単独項目であってもその内容が重要であれば、さらに、それぞれの指導区分

「各健診項目の意義を明確にする」とも、現場で使われる指導内容を指して「わかりやすい」と解説している。

さらに、それぞれの指導区分

表2 項目別判定とコメント

項目	判定	コメント
糖 尿 家族歴	a	糖尿病です
	d	ご家族に生活習慣病の方がみられます
肥 満	a	かなりの肥満です
	b	肥満です
	c	肥満がみえます
脂 質	y	やせすぎの傾向があります
	a	血清脂質の値にかなり異常がみられます
	b	血清脂質の値に異常がみられます
	c	血清脂質の値に異常傾向がみられます
血 圧	a	高血圧です
	b	軽度の高血圧です
	d	血圧は正常範囲ですがやや高めです

上記のほか、各項目とも異常が認められない場合はn判定となる

表3 総合判定と指導区分

指導区分	指導の原則
	引き続き専門医の受診をすすめる
	専門医による管理が望ましい。専門医への受診を勧める
	医師、学校、家庭などが連携して生活指導を行い、数か月～1年後に経過観察のための再検査を受けることが望ましい
	学校、家庭などの連携のもとに生活指導を行うことが望ましい
	要注意所見はあるが管理は不要。ただし、次回健診時に各検査項目値の変動に留意する
N	今回の健診では異常所見が認められない



産業医訪問

獨協医科大学教授 武藤孝司氏

1 あなたの産業医歴は?

私は昭和53年に新潟大学を「もうちょっと前に何とかで卒業しました。いずれは千葉 かないものか」と強く思うようになった。筑波大から予防医学に興味を持って、予防医学を受けた渡辺一先生に「予防的な仕事がいい」と相談したところ、先生の「出身である慶応大学の公衆衛生科として行った方がいい」と

いうわけで、教室の近藤東郎教授からエッサ石油の産業医をやってみないかと声をかけられました。当時(昭和59年)は、まだ認定産業医制度もありませんし、産業医として何をやるのかよくわからなかったのですが、疫学に興味があったので、エッサ石油の産業医をお引き受けすることにしました。

エッサ石油では、メディカルディレクター(医療部長)という取締役に次ぐ地位を与えられました。これにはびっくりしましたが、その地位に見合った働きを求められました。赴任してすぐにアジア地区のメディカルディレクターのミーティングがシドニーで開かれ、私も出席しました。アメリカ本社のアジア地区担当のメディカルディレクターからも現場で塵肺の問題があったので、工場の労働衛生管理はしっかりとやっていました。健康をどうサポートするか

2 あなたのやりたいこと、今、取り組んでいることは?

エッサ石油には4年間専属産業医として勤務し、その後大学に戻りましたが、この4年間の現場体験は私の大学での研究や講義に大変役に立ちました。やはり現場を知ることが大切です。大学に戻った後も非常勤産業医をお引き受けして、現場で働いている方たちの声を聞くことをやっています。

その中で、比較的長くとらえているのがイナックです。イナックは製造業で、労働衛生管理は現場で塵肺の問題があったので、工場の労働衛生管理はしっかりとやっていました。健康をどうサポートするか

出版のご案内 HEALTH CARE 児童・生徒の健康を守るために

お問い合わせは 予防医学事業中央会へ 電話(03)3268-1800

No.36	子どもの尿路感染症とその検診	対談/堀薫・北川照男	No.43	子どもの事故とその予防	田中哲郎/著	No.50	子どもの健康と感染症	寺山武/著
No.37	改訂・子どもの糖尿病と学校検尿	北川照男/著	No.44	子どものスポーツと障害	浅井利夫/著	No.51	子どもの骨の病気をめぐって	磯辺啓二郎/著
No.39	子どもの健康と食事	坂本元子/著	No.45	子どもの検尿・おとなの検尿	村上睦美・小山哲夫/著	No.52	体の成長と成長障害	横谷進/著
No.40	子どもの健康のための運動と実際	塚越克己/著	No.47	子どもの骨の健康づくり	佐藤亨至/著	No.53	新しい学校生活管理指導表 心臓病・腎臓病の子どものために	本田 恵・原田研介・村上睦美/著
No.41	新・子どもの心臓病と事後指導	大國真彦・浅井利夫/著	No.48	子どもの健康と水	石川哲也/著	No.54	子どもの心と健康	吉田弘道/著
No.42	生涯検尿を考える	鼎談/北川照男・酒井 紀・山内邦昭	No.49	子どもの貧血とその予防	前田美穂/著	No.55	子どもの生活習慣病予防の実際	村田光範・内山聖・岡田知雄・本田恵/著

B6判 No.30までは定価二二〇円、No.41～43は二六二円、No.44～46は三二五円、No.47～49は三六七円 (消費税込・送料実費)